

# 第 181 回ラドテック研究会講演会

期 日：2023 年 8 月 30 日（水）13：00～16：40  
会 場：家の光会館 7 階コンベンションホール  
主 催：一般社団法人ラドテック研究会  
協 賛：一般社団法人近畿化学協会・一般社団法人色材協会・合成樹脂工業協会  
一般社団法人日本接着学会・フォトポリマー懇話会  
一般社団法人有機エレクトロニクス材料研究会（予定 順不同）

## <プログラム>

敬称略

### 1) 13：00～13：50（質疑応答含む）

「廃棄プラスチックから肥料を作る –カーボネート結合を活用した高分子循環システム–」

千葉大学 青木 大輔

本発表では、使用後のプラスチックを肥料として活用する新しいリサイクルシステムとその将来展望について紹介する。

### 2) 13：50～14：40（質疑応答含む）

「エネルギーを貯める有機材料：全固体空気電池と水素キャリア高分子」

早稲田大学 小柳津 研一

レドックス活性基を繰り返し単位あたりに置換した有機ポリマーは、充放電を担う電極活物質としての性質を示す。全固体空気二次電池や水素キャリア高分子など、エネルギー貯蔵を担う機能性高分子の最近の展開について紹介する。

14：40～15：00 コーヒーブレイク

### 3) 15：00～15：50（質疑応答含む）

「光酸発生剤と先端フォトポリマー材料への応用」

富士フイルム株式会社 有機合成化学研究所 土村 智孝

光酸発生剤（PAG）は、フォトポリマー材料の特性を大きく左右するキー素材の一つである。本講演では、多様な露光光源や、CTP イメージング、EUV リソグラフィーなど新アプリケーションに対応した高度な機能を有する PAG について紹介する。

### 4) 15：50～16：40（質疑応答含む）

「ナノインプリント技術の基礎と光学デバイスへの応用」

SCIVAX 株式会社 栗屋 信義

本講演ではナノインプリント技術の基礎となる化学と物理について解説し、現在の製品開発製造に用いられているナノインプリント装置、プロセス、材料技術について紹介する。さらに AR/VR など近年注目されているナノフォトニクスデバイスへの応用の実例を紹介する。

※プログラムは変更になる場合がございます。